



平成31年度伊丹市学習到達度調査及び 全国学力・学習状況調査結果報告

3年生対象に、平成31年4月23日（火）に行われた「伊丹市学習到達度調査」及び平成31年4月18日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせ致します。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

（主に全国学力・学習状況調査結果をお知らせ致します。）

伊丹市学習到達度調査 社会・理科 各45分

全国学力・学習状況調査

- 1 学力に関する調査 国語・数学 各50分 英語45分 話すこと10分～15分
国語 数学 英語・・・基礎学力（知識）を問う問題、応用力（活用）を問う問題
英語（話すこと）・・・聞くこと、話すことの調査

学力に関する調査結果について

【伊丹市学習到達度調査】

社会・理科ともに目標値を上回りました。今後も体験的な学習を充実させ、学習意欲や思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。

【全国学力・学習状況調査】

〈国語〉

- ① 全国の平均正答率を1ポイント上回っていました。
- ② 平均無解答率において、全国と本校を比較すると、全体的に0.4ポイント高く、無解答率が最も高い問題での本校生徒は、1.1ポイント高く、時間内に解答を導き出す力が課題と考えられます。
- ③ 出題の趣旨において、「話合いの話題や方向を捉える」、「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」項目が80ポイント以上ありましたが、「封筒の書き方を理解して書く」項目が最も低く課題と考えられます。
- ④ 全体的に学習指導要領の領域別では「読むこと」以外は全国平均を上回っていました。「読む能力」の向上を図り、特に文章の展開に即して情報を整理する力が必要と考えられます。

今後は、さらなる基礎・基本の定着を図り、ペアワーク・グループワークなどの少人数学習の機会を多く取り入れ、スピーチや話し合いの方法、ノート指導などをバランス良く取り入れ、課題解決学習の定着と理解を図っていきます。

〈数学〉

- ① 全国平均正答率を、3.2ポイント上回っていました。
- ② 平均無解答率は全国平均に比べ、全体的に1.2ポイント低く、無解答率が全体的に全国と比較して低かったのが、平均正答率が全国平均を上回った要因につながっていると考えられます。
- ③ 出題の趣旨において、本校の正答率50%以下の設問は、「グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる」、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」、の正答率が低く、特に関数を総復習し、理解力高めていく必要があると考えられます。
- ④ 学習指導要領の領域別において、「関数」以外の全ての問題で平均正答率を上回っていました。

今後の対策としては、さらなる基礎・基本の学力の定着と家庭学習において復習・予習の時間確保ができるよう指導し、家庭との連携を図っていきます。

〈英語〉

- ① 全国平均正答率（話すこと以外）を5ポイント上回っていました。
- ② 平均無解答率は全国平均に比べ、1.6ポイント低く、無解答率が全体的に全国と比較して低かったのが、平均正答率が全国平均を上回った要因につながっていると考えられます。
- ③ 出題の趣旨において、本校の正答率50%以下の主な設問は、「聞いて把握した内容について、適切に応じることができる」、「まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる」、「与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる」の正答率が低く、与えられた情報を整理し、適切な解答を導き出し、聞く力、読む力、書く力をバランス良く向上させていく必要があると考えられます。
- ④ 学習指導要領の領域別において「話すこと」以外は全ての問題で平均正答率を上回っていました。

今後の対策としては、1,2年生時の文法事項の復習を行い、英作文のフォローアップを図り、自己表現活動を授業の中に取り入れ、自分の考えや意見を作文する力をつけていく必要があると考えられます。

2 学習状況に関する調査（生徒質問紙） 20分～45分程度

学習状況調査とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査のことです。質問は69項目ありました。その中の一部の結果を報告します。

- ① 「朝食を毎日食べていますか。」という質問では、食べている生徒が全国平均を0.3ポイント上回っていました。
- ② 「自分にはよいところがあると思いますか。」という質問では、全国平均を、5.4ポイント上回っていました。
- ③ 「学校の授業以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（1時間以上使用している生徒の数）」は、全国平均を1.6ポイント下回っていました。
- ④ 「家で自分で計画を立てて勉強していますか。」という質問では、全国平均を9.2ポイント下回っていました。
- ⑤ 「学校の授業以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。」という質問では、全国平均を1.9ポイント下回っていました。
- ⑥ 「1・2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」という質問では、全国平均を1.4%下回っていました。
- ⑦ 「1・2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。」という質問では、全国平均を3.2ポイント下回っていました。
- ⑧ 「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問では、全国平均を1.8ポイント下回っていました。

昨年度と比較して、朝食摂取及び自尊感情の項目は向上している傾向にあります。家庭における学習時間の確保（予習・復習）、学習の計画性等を踏まえ、今後も各ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。学校として、学習意欲の向上、自尊感情を高める取り組み等を今後も継続して行っていきます。

3 今後の取り組みについて

- (1) 国語における課題として、根拠を明確にして書くこと。複数の条件を満たして書くこと。話し合いの話題や方向を捉えて自分の意見を述べること。問題を丁寧に読むこと。があげられます。

課題解決への取り組み

- ①グループで話し合いの機会を増やし、根拠をはっきりとさせて意見を言ったり、相手に質問する学習活動の場をさらに設ける
- ②いろいろな分野の文章を読む機会を設定し、短時間で大枠の意味を把握できる練習をする。

③漢字の反復練習を毎授業で行っていく必要がある。

- (2) 数学における課題として、基本的な計算力は定着しているが、資料（グラフ、表など）の読み取り、証明への理解を深めていく必要がある。また、関数のグラフから必要な情報を読み取ることができていない。

課題解決への取り組み

- ①専門用語の意味を理解させる。
- ②関数については基礎・基本からの復習をしっかりと行う。
- ③グラフや表などの読み取りについての練習を増やす。
- ④求め方を説明する発問などを取り入れる。

- (3) 英語における課題として、基本的なミスが多く、文章を読み取って、自分の考えを英作文してことに課題があり、正確に長い文章を書ける指導が必要である。

課題解決への取り組み

- ①短い英作文でも、前置詞、三単現の S が抜けるなどの基本的なミスをなくすようにさせる。
- ②正確に長い文章を書く指導が必要である。
- ③文章を読み取って、自分の考えを英作文できる力をつける。

- (4) 日々の授業において、「今日のねらい」の定着化を図っていきます。また、確かな学力の定着を図り、「反復学習」、「振り返り」の充実を図ります。

- (5) 授業内評価を取り入れ、研修会等で授業内容等を検証し授業改善に努めていきます。

- (6) コミュニティ・スクール指定を受け、さらなる地域連携を図り、地域・保護者・学校の社会総がかりで学力向上に取り組んでいく必要があります。

- (7) 生徒指導体制及び研究推進体制の推進を図り、教員の資質向上、若手教員等の育成に努めていきます。

- (8) 授業改善（アクティブ・ラーニング）に取り組み、教科内連携を充実させ、研修会等を通して授業力向上に取り組んでいきます。

- (9) 終礼後の「学習タイム」放課後学習「先生教えてクラブ」等の充実を図り、個に応じた支援を行っていきます。

- (10) 自尊感情を育み、「学びに向かう力」を育成していきます。

- (11) 学校図書館を活用し、学校図書館司書、学校図書館サポーターと連携し、読書教育の充実を図っていきます。

- (12) 教科間・学年間連携を図り、特に3年生を対象とした補充学習、個別学習、放課後学習の充実努めていきます。